



図書館と私

図書館長
国松夏紀（国際教養学部教授）



昨春、京都で開催された或る学会でのこと。研究発表の司会者がテーマに関わる文献探索結果を引用された。探索先は、仏国立図書館、大英図書館、米議会図書館であったが、このような作業は日常化している。つまり、図書館はそれ自体と共にそのインターネットワークで機能している。参照必要資料探索は、国内外に徹底可能な環境が整備されているのだ。

その一方で図書館はアクティブラーニング環境の整備、さらに寛ぎの場の提供にも取り組んでいる。活発に議論・飲食しながら仲間と勉強する——ギリギリの許容範囲を模索中である。かつて大学図書館には「地下ミルクホール」は付き物であったのだろうが。

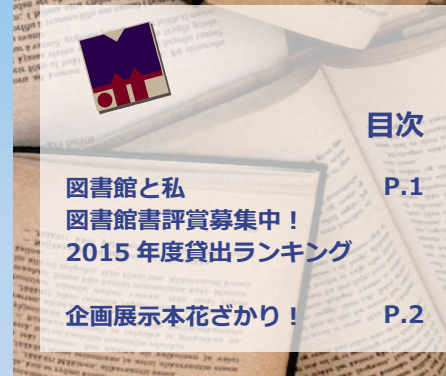
とは言え、やはり文献の現物を提供するのが図書館の第一の役割である。一例としてロシア国立古文書館の話をしておこう。テーマは19世紀ロシアの文豪ドストエフスキー、『罪と罰』、『白痴』に次ぐ長編小説『悪霊』を巡る問題である。作家自身の若い頃の挫折体験を踏まえて、新世代左翼の運動を批判・戯画化する作品を雑誌に連載中の1871年、編集者からクレームがついた。主人公による少女凌辱の告白が忌避され掲載拒否。作家は是非ともこの一章を救うべく校正刷に書き込みをする形で妥協案を提示したが翻らなかった。この一章（通称「スタヴローギンの告白」）は単行本『悪霊』にも入らずお蔵入り。ようやく日の目を見たのは、作家没後40年、革命後の1922年のことであった。

作家の創作現場を覗き見るような興味深いこの貴重資料を閲覧したのは、1996年春のこと、モスクワ北郊のアルヒーフでご対面となった。2週間ほど通ったただろ、うか、アンナ夫人の手でノートにキチンと折込み貼付された校正刷と作家自身の手になる夥しい訂正・書換えをジックリと点検したのであった。2010年秋、再訪する機会を得たが、すでにこの資料は門外不出・閲覧不可であった。ただし、写真版CDを提供された。勿論、有料。

私にとってこれは、研究の基盤となる宝ものだが、興味の無い人には無縁のものであろう。宝ものは個々別々、人それぞれであるのだから。そういう意味では、とりわけ新入生の皆さんは今、図書館という宝の山の入り口に立っている。キッカケは何であれ、まず第一歩を踏み入れて見てください。

図書館書評賞募集中！

今回で11回目となる「桃山学院大学図書館書評賞」の応募を受け付けています。書評対象図書は、原則初版出版後5年以内で本学図書館所蔵の図書です。応募の締め切りは、夏期休暇明けの9月30日（金）午後5時です。提出先は、図書館1階メインカウンターです。詳細は、図書館HP、ポスター、M-Portをご覧ください。皆様の応募をお待ちしております。



2015年度 貸出ランキング

順位	書名・著者名・出版者・出版年	請求記号・所在
1	『経済学入門：ミクロ&マクロ』第2版。 荒井一博、花井敬著、中央経済社、2010。	331JA62 指定図書／1階
2	『図解よくわかる行動経済学：「不合理行動」とのつきあい方』川西諭著、秀和システム、2010。	331KA96 指定図書／1階
3	『興文化への視線：新しい比較文学のために』佐々木英昭編、名古屋大学出版会、1996。	901.9IN27 指定図書／1階
4	『無用の用：中国古典から今を読み解く』初版。 串田久治著、研文出版、2008。	12204KU86 1階一般書架
5	『ITパスポート試験によく出る問題集：CBT対応』岩代正晴、新妻拓巳著、技術評論社、2014。	007.6II96 指定図書／1階
6	『Doソシオロジー：現代日本を社会学で診る』改訂版、友枝敬雄編、山田真茂留編、有斐閣、2013	361ID81 指定図書／1階
7	『社会科中学生的歴史：日本の歩みと世界の動き』最新版、帝国書院、2002。	375.323SH12 教職課程資料／1階
7	『新しい社会：公民』 東京書籍、2012。	375.313IA94 教職課程資料／1階
7	『ファスト&スロー：あなたの意思はどのように決まるか?』ダニエル・カーネマン著、村井章子訳、早川書房、2014	141.5KA19 指定図書／1階
10	『考える力が身につく社会学入門』浅野智彦編著、加藤篤志〔ほか著〕、中経出版、2010。	361JA87 1階一般書架

企画展示本花ざかり！

季節は春、新しいことに取り組むのにピッタリの季節です。
そんな季節に合わせて図書館は本を通じて新しい発見を応援しています。
様々な本との出会いを通じてハッピーな大学生活が送れますように……



教員おすすめ本 2016

各学部図書委員の先生方が選んだ、学生の皆さんにぜひ読んでほしいと思う本を展示しました。学部ごとに分類しています。
あなたの学部の「おすすめ本」には、どんな本が選ばれていますか？



推薦本

先生の指定図書 2016



図書館1階のメインカウンター横に「指定図書コーナー」がありますが、それとは別に先生にコメントをいただいたものを展示しています。授業の必読書として指定されている本です。授業を受けている方は、ぜひチェックしてみてください。

皆さんの学習をサポートする機関である「学習支援センター」。今回、学習支援センターにいる学習アドバイザーの先生方やスタッフの方に、さまざまな分野から学生の皆さんへのおすすめ本を選んでもらいました。

学習支援センターのおすすめ本



特集本

「世界」&「セカイ系」で 素敵な大学生生活のヒントを探そう！

世界を様々な観点からみてもらおうと、激変する世界情勢に関する本と、日本のサブカルチャーの一つである「セカイ系」の小説などを中心に展示しました。メディアが報じる「世界」と日常生活の観点から描かれる「セカイ系」の小説、二つの異なる視点からみた「世界」を楽しんでください。



2016 年本屋大賞

本屋大賞とは、新刊書の書店に従事する書店員の投票だけで選ばれた「今一番売りたい本＝読んでほしい本」を読者に伝えるために設立された「本を愛するすべての人のための賞」です。今回の展示は、2016年本屋大賞の上位10作品と、翻訳小説部門の上位5作品です。



編集後記

桃大図書館通信 MOTT 第9号はいかがでしたでしょうか。今回も都合により”ちょっと MOTT”としての発行となってしまいました。
現在、図書館では初年次ゼミを対象に図書館オリエンテーション(全87クラス)を実施しています。今年は、「図書館 Quest」として、学生自身が最後まで興味を持って取り組めるようグループで課題をクリアさせることで情報探索をゲーム感覚で楽しめるゲーミフィケーションの要素を導入しました。もっと図書館に興味を持ってもらいたいという思いは伝わったでしょうか。昨年度の入館者数は218,851名(学生1人当たり32.6回)、貸出冊数は41,361冊(学生1人当たり6.2冊)となりました。今年度ももっと図書館を利用してもらえるよういろいろな情報を発信していきますので、よろしくお願いいたします。(K)。